

遠賀川流域活動報告

第14回 福岡水もり自慢！in矢部川開催

12月17日(日)、八女市「おりなす八女」で「ふくおか水もり自慢 in 矢部川」が開催されました。この取り組みは、福岡県内で水環境の保全に関わる活動をしている団体や関係機関が一堂に会し、交流・連携し、お互いの活動を称えあい、福岡県にある豊かな自然と人間が共存していくために必要な考え方や取り組みを一緒に検討していこうと毎年開催されています。当日の午前中に福岡県林業技術者連絡会の福島会長らによる基調講演や、平成29年7月に発生した九州北部豪雨の事例報告があり、午後からは福岡県の各地から集まった参加者による活動報告が行われました。遠賀川流域から子どもの部4課題、大人の部5団体が発表しました。



遠賀川流域だより

第58号
平成30年2月



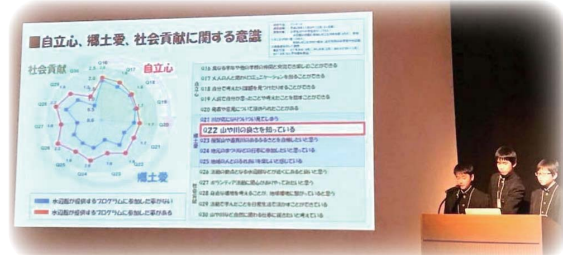
ほくたちは遠賀川の植物を調べてみました／遠賀川流域子ども水フォーラム実行委員会



遠賀川から花のプレゼント／直方川づくり交流会



遠賀川の小さな源流から河口を訪ねて／めだかの学校遠賀川生き物調査隊



ほくは遠賀川生き物調査隊のサポーター／YNHC(青少年博物学会)



子どもの部の発表・表彰が終わりました 次世代の子ども達の見事な発表に会場は温かい雰囲気になりました

第8回 いづか防災フェア開催

～楽しみながら防災力を高めよう～

11月19日(日)、飯塚市主催により、飯塚市防災センターとその周辺の遠賀川河川敷きで、幼児から高齢者まで楽しみながら防災力を高めようとして8回目を数える「いづか防災フェア」が開催され、多くの家族連れで賑わいました。会場には、防災・河川に関する意識の向上を図るため、協力団体による各種ブースが設けられ「地震体験ブース」「防災・河川クイズブース」「消防車両展示ブース」「食糧供給訓練ブース」など盛りだくさんの内容でした。会場では、福岡県の備蓄食糧としていた缶詰や、女性防火クラブ、飯塚信用金庫による豚汁、ごはんの供給訓練もありました。



○食糧の備蓄方法の心得 ～ローリングストック法～

普段から少し多めに食材・加工品を買って置き、使ったら、その分だけ新しく買い足し、常に一定量の食料を備蓄しておくことで鮮度が保てるので、いざという時にも日常に近い食生活をする事ができます。



飯塚消防署による子どもレスキュー体験



普段は見ることがない、救急車の展示も行われました



防災資機材の展示なども行われました



川船(川ひらた)ブースでは由來の説明と試乗体験も！

遠賀川のシンボル！ 鮭が帰ってきました！



嘉麻市の鮭神社に鮭を奉納

「今年は、鮭は帰ってくれるだろうか」と、だれもが心配していた「遠賀川のサケの遡上」。

12月2日（火）、遠賀川水系西川に流入する農業用水路（遠賀町松の木6丁目）で、全長67cm重さ2.4kgの雌が、地元の方によって発見、「遠賀川のシンボルが帰ってきた」と皆さんが大喜びしました。

12月13日（水）、遠賀町の住民から預かった「鮭」を浦山遠賀川河川事務所長が鮭神社の氏子に届けられ、2年ぶりに本物のサケが献上されました。氏子の皆さんや遠賀川流域の住民や関係者、遠くは北海道からの漁業関係者の皆さんが見守る中、遠賀川で見つかった鮭をはじめ、多くの鮭が鮭塚に奉納されました。

この鮭神社は全国的に珍しい神社で、遠賀川に鮭が遡上した年は、豊作になると言い伝えがあるそうです。これからも、遠賀川に鮭が戻ってこられるように流域のみんなが遠賀川を大切にしていきたいですね。



馬見山の麓で鮭のふ化・育成が始まります

遠賀川源流サケの会

献鮭祭後、馬見山の麓にある遠賀川源流サケの会のふ化場で「鮭のふ化・育成」が始まります。

クリスマス前後からふ化を始める仔魚を育成して、3月初旬ごろから嘉麻市大隈橋をかわきりに遠賀川流域各地の河岸より鮭の稚魚が放流されるそうです。



ふ化場での見学会の様子



田川市立伊田小学校で鮭の有精卵の譲渡式

12月15日（金）、田川市立伊田小学校で今回で3回目となる鮭の有精卵の譲渡式が行われました。鮭の有精卵を、伊田小学校の4年生の児童が育成し放流する取り組みが行われています。今年も、「伊田校区まちづくり協議会」の宇都宮会長から「稚魚を放流する3月まで、皆さんで大切に育ててください」と話され、「鮭の有精卵」が児童に手渡されました。



譲渡式 有精卵が手渡されました



教室で春の放流まで大事に育てられます

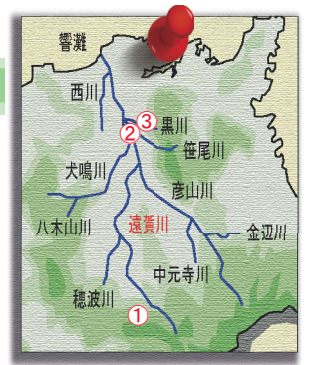


「有精卵」が入れた水槽は黒い紙でおおわれ、水温や卵の管理をします

竹の利用を考えよう 遠賀川流域住民の会

竹林の整備と竹炭づくり、水質浄化、堆肥として活用

遠賀川流域住民の会が、遠賀川の源流の森の荒廃、特に竹林が山林を侵食していることに起因する水量の減少を危惧して実施している、竹林の整備と活用の取り組み「源流の森再生応援団」をご紹介します。竹林を伐採し、伐採した竹で炭をつくり、竹炭を水質浄化に役立て、さらに使用した竹炭を肥料へと活用する取り組みで、遠賀川流域住民の会より遠賀川流域の各団体に呼びかけ、行われています。



①竹林の整備と竹炭づくり 遠賀川流域住民の会

9月24日(日)、嘉麻市千手長野地区で、地元から毎年参加している嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校の生徒さんや地域の住民の皆さんが協力し、竹炭作りの準備として山から切り出した竹を四つ切りにして束ね炭焼き窯に入れました。11月19日から窯に火を入れ、スタッフや流域のボランティアの皆さんが昼夜3日間火を絶やさないよう窯の番をしましたが、夜も寒くなり大変だったそうです。11月30日窯開きをしました。出来上がった竹炭を程よい大きさにして袋詰めしたところ、今年は5kg入りで70袋できたそうです。竹炭は、河川の浄化に役立てるため、各団体のもとへ出荷されました。

皆で竹を四つ切りに



窯で3日間焼きます



竹炭を袋詰めて



各団体へ出荷!



窯に竹を敷き詰め



竹炭完成!!



②竹炭による水の浄化作戦 笹尾川水辺の楽校運営協議会

12月15日(金)、北九州市八幡西区にある笹尾川水辺の楽校内クリークの浄化に使用している竹炭の交換を行いました。竹炭を敷設して2年が経過したため、「源流の森再生応援団」で作成した竹炭50袋の譲渡を受け、敷設替えを行いました。

クリークの竹炭を引き上げ



使用済みの竹炭



笹尾川水辺の楽校で活用!!



③使用済みの竹炭を堆肥として活用 ふるさとまちづくりの会

同日、笹尾川水辺の楽校のクリークから引き上げた使用済みの竹炭30袋を「ふるさとまちづくりの会」のコスモス花公園に、同メンバーにより3畝(せ)(10袋/1畝)に鋤き込みました。

コスモス畑にまいて鋤き込み肥料に活用!!



袋から竹炭を取り出して...



今年もきれいなコスモスが咲きますように!!

犬鳴川で芋煮会が催されました！

犬鳴川みどりの会

11月26日(日)、犬鳴川みどりの会の主催により芋煮会が宮若市犬鳴川河川公園で行われました。公園内にある花壇の今年最後の手入れが行われ、たくさんの人たちで賑わいました。作業の後は、芋煮会が催され参加した子どもたちも熱々の芋煮に舌鼓をうっていました。



できたての芋煮
おいしい~



春に向けて チューリップの植え付け

直方川づくりの会

11月26日(日)、直方市の遠賀川河川敷で毎年4月に行われるチューリップフェアに向けて、球根の植え付けが行われました。直方川づくりの会の呼びかけにより市民が集まり和気あいあいと作業に精を出しました。どんなチューリップが咲いてみんなを喜ばせてくれるか春の訪れが楽しみです。



木枠で球根を配置して、植えています



もっと知ろう！私たちの遠賀川

芦屋町立芦屋東小学校

自ら考え、調べたことをポスターセッションで発表

12月8日(金)、芦屋町立芦屋東小学校の4年生の児童は、6月から総合学習の時間を活用して、遠賀川と自分たちとの生活のつながりや、魚道公園の自然環境について学びました。

当日は、児童の学習内容について、遠賀川多自然魚道公園を設計した九州工業大学環境デザイン研究室の伊東啓太郎教授や学生の皆さん、国土交通省遠賀川河川事務所等が会場にてアドバイスをを行いました。

児童達は各々興味や関心のある「生き物調査」「河口堰班」「遠賀川班」「魚道の役割班」の四つに分かれ、調べたことをポスターセッション形式にとりまとめ発表しました。はじめは少し緊張気味だった児童達もしっかり発表ができてニコリでした。当日は地域の皆さんも学習の様子を見学しており、児童の発表に聞き入っていました。



テーマ毎にポスターセッション形式で発表！

地域の皆さんも児童の発表に感心しきり

伊東先生のアドバイス



河川愛護団体の皆さんによる清掃活動！

遠賀川・金辺川・中元寺川

遠賀川流域では、河川愛護団体の皆さんによって、河川敷や堤防の草刈りが行われ、きれいな河川敷になっています。10月末から11月にかけて行われた清掃活動の一部をご紹介します。



① 嘉麻市大隈 嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会

10月12日(木)、嘉麻市の大隈にある「嘉穂水辺の楽校」で、嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会の皆さんが、今年最後の河川敷の草刈りを行いました。草刈り後、刈り取った草を焼却しますが、雨が長く続くため、なかなか燃えなくて、毎日燃やすのに苦労しているそうです。



嘉穂水辺の楽校周辺の環境を守る会の皆さん



刈り取った草は、燃えにくかったですが無事焼却できました



② 嘉麻市宮吉区 遠賀川をきれいにする会

11月14日(火)、嘉麻市宮吉区で遠賀川をきれいにする会による川の草刈りが行われました。川の護岸にびっしりと繁茂した草もきれいに刈り取りました。



護岸の草を刈り取り、すっきりきれいになりました

③ 金辺川 御殿橋清掃、草刈り 金辺川を楽しむ会

11月25日(土)、金辺川を楽しむ会により、金辺川御殿橋で河川の清掃、草刈りが行われました。



金辺川河川敷を皆さんで草刈り、清掃



④ 川崎町 中元寺川鮎返りクリーン大作戦

平成23年度からスタートした鮎返りクリーン大作戦は、河川の一斉清掃を通じ、住民が主体となって美しい川の保全に取り組むとともに、自然環境にやさしい地域づくりを目指し将来の世代に引き継いでいくために実施されています。11月25日(土)に実行委員会の呼びかけのもと実施されました。



将来の世代に引き継いでいくために！



團六群やネコやナギの群生を保護して清掃

※ 各イベント名の前に付いている番号は、次ページの地図に表示のイベントを示しています。

遠賀川 水辺のイベント (2-3月)

事前申込が必要なイベントがあります。また、天候等により開催日が変わることがありますので、お問い合わせ先にご確認ください。



①エコスタいいづか (環境教育推進大会) 2月10日(土)

概要: 飯塚市内の小中学校や団体などによる環境保全活動発表とその活動表彰や体験・学びができる様々なワークショップ、クイズや抽選会など、参加して楽しめるとともに環境について関心を深めるイベントを開催します。

会場: 飯塚第1体育館
(飯塚市枝国666番地11)
問: 飯塚市・飯塚市教育委員会・
いいづか環境会議
tel.0948-22-5500内線1655
(飯塚市 環境整備課)

②第23回サケの放流会 2月25日(日)

概要: 6,000匹の稚魚を遠賀町や近隣の市町村約47箇所の企業や団体、個人の飼育ボランティアの方々が育てています。どなたでも放流会に参加できます。子どもから大人までみんなで楽しく放流しましょう。

会場: 広渡小学校横の西川河川敷
(遠賀郡遠賀町広渡)
問: 遠賀町青少年育成町民会議
tel. 093-293-1234
(遠賀町役場内)

④環境セミナー&交流会 3月18日(日)

概要: 「生きものにぎわう里山づくり~人と地域を元気にする里山保全を目指して~」をテーマに、環境セミナー&交流会を開催します。九州工業大学環境デザイン研究室の伊藤啓太郎先生による基調講演、里山保全に関する活動報告、そして「里山保全からつながる地域づくり・人づくり」をテーマにパネルディスカッションを予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。(要事前申込み)

会場: 直方市中央公民館3F 第3学習室
(直方市津田町7-20)
問: 筑豊地区地域環境協議会
tel.0948-21-4975
福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所

③金川ウォーキング大会 3月17日(土)

概要: 金川中学校の2年生が、総合的な学習の一環としてウォーキング大会を催します。金川地区の魅力を感じながら、中学生と一緒に心地よい汗を流しませんか。

※水筒、タオル、弁当を持参してください。
会場: 平成筑豊鉄道糠(ほしい)駅
問: 金川中学校
tel. 0947-44-0591

⑤サケの稚魚放流

2月~3月

概要: 遠賀川流域の各地で、各団体や小学生などによりサケの稚魚の放流が行われます。詳細につきましては市報、広報誌、各自治体のHPなどをご確認ください。

会場: 遠賀川流域各地

「知っ得情報! 遠賀川」で最新の情報を知ることができます!

本誌に掲載されていないイベント情報などが Facebookページ「知っとく情報! 遠賀川」で入手可能です。

アクセスはこちらから→



遠賀川 水辺のイベント (2-3月)

鯉 鱒



- 季節の花
- 🌸 梅 (2月)
 - 🌸 桜 (3~4月)
 - 🌻 菜の花 (3~5月)
 - 🌸 多種

①~③水辺のイベント

- 文化施設
- 窯場
- 美術館・博物館
- ▲ 自然(山・森)
- 水辺の施設



第23回サケの放流会



金川ウォーキング大会

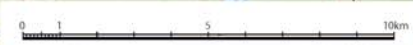
エコスタ
いいつか
2018
環境教育推進大会

入場無料
2月10日(土) 10:00-14:00
会場: 飯塚第1体育館 (0998-666-11)

エコスタいいつか(環境教育推進大会)



⑤サケの稚魚放流



遠賀川河川事務所からのお知らせ

九州河川協力団体連絡会議 遠賀川圏域会議を開催しました

国土交通省九州地方整備局では、九州各地で河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う河川協力団体の方々と協働で、地域に親しまれ、愛される「魅力あるいい川」をつくるため、九州内の七つのブロックで河川協力団体と話し合う『九州河川協力団体連絡会議 圏域会議』を行っています。

11月8日(水)、遠賀川地域防災施設「遠賀川水辺館」で遠賀川圏域会議を開催しました。遠賀川流域の河川協力団体である、「笹尾川水辺の楽校運営協議会」、「NPO法人直方川づくりの会」、「NPO法人遠賀川流域住民の会」「田川ふるさと川づくり交流会」に参加いただきました。



河川協力団体など約50名が参加



最後に参加者全員で記念写真をパチリ

会議は、遠賀川の河川協力団体からの近況報告を皮切りに「未来を担う人材の発掘」、「流域のあるべき姿と方向性」について意見交換が行われ、参加者より多くの意見がだされました。

【未来を担う人材の発掘】について

- ・若年者をリーダーにし、周囲がフォロー
- ・イベントに参加する子どもの保護者
- ・各地域の青年会議所の開拓、繋がり
- ・世代別の会員制度
- ・子ども達が川に近づく取り組み
- ・チラシなどでの参加募集
- ・長期的な視野での人材育成を

【流域のあるべき姿と方向性】について

- ・皆で同じテーマに向かって取り組む。(会議、ミズベリングetc)
- ・流域文化をキーワードとした取り組み。
- ・上下流の市町が顔あわせる機会(イベント)の開催
市町のお祭りを活用し、人を集める工夫



挨拶：九州河川協力団体連絡会 濱崎代表(左)
九州地方整備局 河川部 高成河川情報管理官(右)



河川協力団体メンバーから多くの意見が出されました

お知らせ 1月21日に行われた「遠賀川流域リーダーサミット」は、次号第59号に掲載いたします。

遠賀川流域だより

発行 国土交通省遠賀川河川事務所
住所 直方市溝堀1丁目1-1
電話 0949-22-1830
FAX 0949-22-2859
HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>



皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

協力 NPO法人遠賀川流域住民の会
電話 090-2850-8649
<http://www.ongagawa.jp/>